



西浦 三郎
ヒューリック
取締役会長

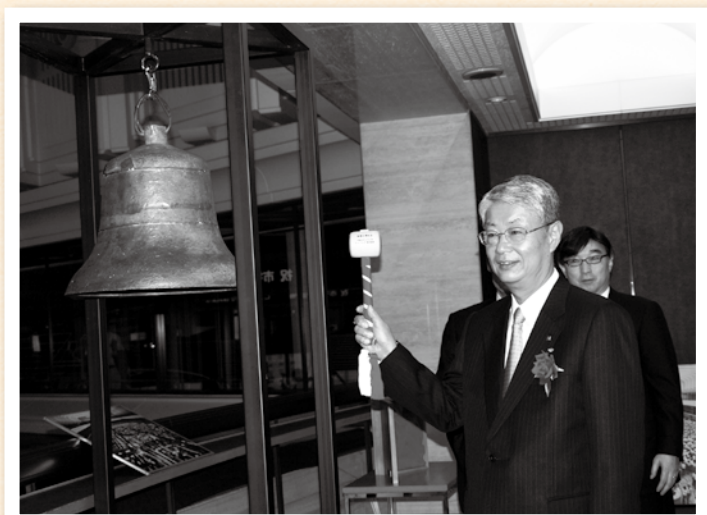
小さく生んで 成長させればと上場

ヒューリックの社長に2006年3月就任しました。ヒューリックは旧富士銀行の店舗などを10件程度保有する不動産管理会社でした。銀行はバブルの不良資産を処理するため、簿価がほとんどゼロの銀行店舗や寮・社宅約100物件を時価で当社へ売却しましたが、全てを銀行借入で行ったことから借入過多となりました。銀行としても抜本的に立て直しを行わなくてはならず、みずほ銀行の副頭取から当社の社長に就任しました。

不動産業は、成長するためには資金が必要であることと、自己資本ができるだけ多くないとリスクに耐えられないことは分かっていました。資金はその当時でも借入過多といわれていましたので、上場しマーケットから資金を取る以外になく、いろいろなネックはありましたが、上場することを決断しました。当初はこの会社が上場すると言っても社員に信じ

てもらえませんでした。多くの方にご尽力をいただいて上場のためのPTを立ち上げました。当時は連結決算も実施しておらず、監査法人の監査も受けていなかったことから、監査法人監査を受けることからスタートしました。

このような準備をし、上場申請を行おうとすると、会計基準の変更があり、新しい基準で前2期のB/S、P/Lを作らなければいけなくなったりして上場のスケジュールに狂いが出てきたときにリーマンショックが起こりました。当初時価総額1,000億円以上と予測されていたのが大幅にダウンするだろうと言われましたが、最初に小さく生んで成長させればよいと思い上場に踏み切りました。2008年11月11日に東京証券取引所市場第一部に上場し、今年の11月で上場13年目になります。途中2回の増資を行い、今期は経常利益920億の目標達成に頑張っているところです。



東証一部に上場を果たし、東京証券取引所でセレモニーに臨む